

# 2024年度 法科大学院

## 第4期入学試験問題

### 3時限

### 刑法

### (論文式)

## 試験時間 50分

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

## [刑法]

次の事例における甲及び乙の罪責を論じなさい（特別法違反については論じないこと）。

### 【事例】

- 1 甲（40歳、身長160cm）は暴力団X組の組員であった。X組と、暴力団Y組との対立抗争は、令和5年9月頃から激化していた。同年9月15日、Y組の組員が、夜道を帰宅中のX組組員の腹部を包丁で刺し全治3ヶ月の大怪我をさせる事件が起こった。そこでX組では、組員に対し、護身用の武器を携帯するように指示を出していた。
- 2 甲は、Y組の組員に襲われた場合に備えて、護身用に出刃包丁（刃体の長さ約10cm）を身に付けていた。同年9月30日午後11時ころ、甲が薄暗い夜道を帰宅中、後ろを歩いていたA（25歳、身長180cm）が、いきなり背後から前に回り込んで、右手を振り上げて立ちふさがった。そのため、甲は、Y組組員が殴りかかっているかのように思われ、危険を感じるとともに、逆上し、所持の出刃包丁をAの下腹部を目標に1回突き出した。ところが、出刃包丁を突き出された際、Aは、甲の攻撃を避けるためにとっさに飛び上がったので、出刃包丁はAの右足大腿部に刺さり（傷の深さは約5cm）、Aは、大腿部刺傷の全治2週間の傷害を負った。なお、Aは、甲を友人のBと勘違いし、Bを驚かせるつもりで甲の前に立ちふさがったものであった。
- 3 甲は、この後どうすればよいか分からなくなり、X組組員である乙に携帯電話で電話をして、呼び寄せることにした。甲は、乙が到着するまでの間、Aが人目につくとまづいと思われ、歩けずにうめいていたAを、全く人気のない駐車場に引きずっていった。
- 4 同日午後11時30分ころ、乙（45歳、身長170cm）は、駐車場に到着した。乙は甲に対し、「お前、その男に顔を見られていないか。」と聞いたところ、甲は「暗闇で、帽子とマスクをしていたので、顔は見られていないと思う。」と答えた。乙は、「それじゃあ、通りがかりに強盗に遭ったように見せかけよう。その男は、あんな状態では、抵抗できないだろう。そいつから金を巻き上げてやろう。俺がやってやる。」と言った。甲は、この乙の発言に対して、何も応答しなかった。
- 5 乙は、甲の帽子とマスクを着用して顔が分からないようにしてAに近づき、「お前は、俺を脅かしたんだよ。だったら、金を出してはどうか。」と淡々と言った。Aは、右大腿部刺傷の傷害を負っており、抵抗する気を全く喪失していたので、財布から6万円を出して、乙に渡した。乙は、その6万円のうちの3万円を、甲に提示したところ、甲は黙ってこれを受け取った。

以上